

「三世代コホート調査結果報告会」「第4回 周産期救急搬送症例検討会」

日時：平成28年10月19日（水）午後6時30分～

場所：東北メディカル・メガバンク棟 3階 大会議室
大崎センター・石巻センター・気仙沼センター

I 開会の挨拶

東北大学医学部産科学婦人科学教室 教授
八重樫 伸生

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 教授
菅原 準一

II 「三世代コホート調査結果報告」

東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門 准教授
菊谷 昌浩

III 周産期救急搬送症例検討会

【1】 「FGRにて搬送され21トリマーの診断となった一例」

仙台市立病院 笹瀬 亜弥

【2】 「絞扼性イレウスを併発した子宮破裂の一例」

仙台赤十字病院 氷室 裕美

【3】 「弛緩出血に対してBakriバルーンを挿入後、
子宮動脈損傷のため子宮摘出となった一例」

東北大学病院 田中 宏典

IV その他 仙台都市圏での外来紹介・救急搬送依頼の目安
未受診妊婦の対応について

東北大学病院 齋藤 昌利

V 閉会

仙台赤十字病院 総合周産期母子医療センター長
谷川原 真吾